

JATA経営フォーラム2020」の見どころ



「新たな旅行会社のカタチ」研究会の大槻厚 座長

分科会B「デジタルネイティブ時代の新たな旅行会社のカタチ」
「新たな役割研究会」

報告から道筋探る

分科会Bでは、昨年3月から活動を開始した「国内旅行マーケットにおける新たな役割研究会」の結果を踏まえて、研究会の座長を務める日本旅行の大槻厚取締役常務執行役員個人旅行営業統括本部長をはじめ研究会のメンバーが提言を行います。

代に入り、消費の中心が物心ついた時からデジタル環境の整った中で育つたデジタルネイティブ世代となることを踏まえ、OTA、宿泊施設、地域(DMO)、他業種といふ旅行市場を取り巻く4つの事例から研究成果を報告します。

を構築するためのポイントについて説明。「他業種の事例」では、大きく業態変革を遂げたケースを参考に、デジタルネイティブ時代におけるリアル店舗の役割について示唆を試みます。

世代が消費の中に躍り出る中、OTAと同じ土俵で競争するのではなく、旅行会社ならではの存在価値を示し、生き残るためにはどうすれば良いのか研究会の大規模座長が総括の提言を行いました。旅行会社の経営にとつての大きなヒントを得られるはずです。

『JATA経営フォーラム2020・開催概要』

○日時
2020年2月21日(金)

○場所
アカデミーヒルズ（六本木ヒルズ
森タワー49階）

既存事業深化とイノベーション

◎ プログラム構成

和彦氏（株式会社経営共創基盤「IGPI」代表取締役CEO）

「D.M.Oの動向を踏まえた旅
行会社の役割」では、旅行会社と
地域とがワイン＆ワインの関係性